

第2回清掃工場建設に係る焼却方式選定のための検討会 議事録

- 日時 平成27年3月12日 午後2時～4時
 - 場所 議会棟3階 第5委員会室
 - 出席者 全国都市清掃会議技術顧問 栗原 英隆
工学院大学准教授 小林 潤
千葉工業大学名誉教授 瀧 和夫
 - 事務局 資源循環部長、新港清掃工場長、施設課長、施設課長補佐、施設整備係長、
施設整備係員
-

●検討結果

新工場の焼却方式を選定するための評価結果について検討し、以下の結果を得た。

- (1) ストーカ炉＋灰溶融方式の評価結果は41点となった。(※表1参照)
- (2) シャフト炉式ガス化溶融方式の評価結果は67点となった。
- (3) 流動床式ガス化溶融方式の評価結果は66点となった。

以 上

表1 評価結果

	大項目	配点	小項目	配点	評価			採点		
					スト+灰溶融	シャフト	流動ガス	スト+灰溶融	シャフト	流動ガス
技術 80	1 信頼性、安全性	30	①処理対象ごみへの適応性	10	C	A	B	2	10	6
			②事故の可能性とその対策	7.5	B	B	B	4.5	4.5	4.5
			③稼働実績	7.5	C	A	B	1.5	7.5	4.5
			④低負荷運転時の安定稼働	5	B	B	B	3	3	3
	2 資源・エネルギーの回収	25	①最終処分量	10	B	B	C	6	6	2
			②エネルギー回収率	10	C	B	B	2	6	6
			③物質回収量	5	B	A	B	3	5	3
	3 環境保全性	15	①地球温暖化防止性能	5	B	C	A	3	1	5
			②立地条件への適合性	5	B	B	B	3	3	3
			③公害防止計画	5	B	B	B	3	3	3
	4 防災性、災害時の対策	10	非常時のリスクと対策	10	B	B	B	6	6	6
	小 計	80		80				37	55	46
経済性 20	5 経済性	20	建設費+20年間の維持管理費	20	C	B	A	4	12	20
合 計		100	—	100				41	67	66

評価	評価基準	評価係数
A	優れている	1.0
B	普通	0.6
C	劣っている	0.2